



老子会のモットー

「老子の道の精神を生かし、自分を変え、世界を変え、未来を変えていく」をモットーに、世界平和・人類の幸福を推進していく。

老子



第46回老子会から

第46回老子会は2017年11月19日(土) 15:00~17:00 甲南大学6-33 講義室で実施しました。

今回は『老子(道徳経)第65章』を学習しました。第65章の原文・書き下し文・現代語訳・雑感下記のとおりです。



原文

古之善爲道者、非以明民、將以愚之。民之難治、以其智多。故以智治國、國之賊。不以智治國、國之福。知此兩者、亦稽式。常知稽式、是謂玄德。玄德深矣、遠矣。與物反矣。然後乃至大順。

書き下し文

古えの善く道を為す者は、以(も)って民を明らかにするに非ず、將(まさ)に以(も)ってこれを愚かにせんとす。民の治め難(がた)きは、その智の多きを以(も)ってなり。故に智を以(も)って国を治むるは、国の賊なり。智を以(も)って国を治めざるは、国の福なり。この兩者を知るは、また稽式(けいしき)なり。常に稽式を知る、これを玄德(げんとく)と謂(い)う。玄德は深し、遠し。物と与(とも)に反(かえ)る。然(しか)る後(のち)乃(すなわ)ち大順(たいじゅん)に至(いた)る。

現代語訳

古くからの「道」を十分に修めた人は、民衆を聡明にしようとはしなかった、むしろ愚直にしようとしたのだ。民衆が治め難いのは余計な知恵がついたためである。だから知恵に頼って国を治めようとするのは国を滅ぼす原因となる。余計な知恵を用いず国を治めれば国は安泰である。これら二つは国を治める時の法則である。この法則を常に守る事を「玄德 - 神秘なる徳」という。玄德は深遠で測りがたく、この世の万物と共に帰る。つまり大いなる順応によって無為自然へと至る道なのだ。

雑感

コノ世には、仕事や人間関係・いろんな物事において、大小さまざまな「隠れた法則」や「パターン」が存在することに気づき、それを絶えず知ろうとしないと老子が言っています。

もし、この法則に気が付くことが出来ますと、物事をいつも大きな視点で見ることが出来て、災難を避けて物事を順調に丸く収めることが可能になると言うことです。

この能力のことを、「玄德」=深遠な徳、神妙なる徳と老子が呼んでいます。

この能力は、誰でも持つことが可能です。物事を冷静に「静観」していると、会社や家庭での人間関係にしましても、いつも繰り返される「パターン」に必ず気づきます。パターンに気が付くことが出来ますと、嫌なことならば避けることが可能になるわけです。酒癖の悪い旦那ならば、酒を飲みだせば距離を置くことや、自分が言う言葉に注意することなども、「パターンの認識」を自然としています

コノ世は森羅万象すべてにおきまして、パターンに満ちています。宇宙の天体にしましても、パターン(法則)による運行なのです。

では、コノ世は機械のように完全にパターンだけの世界なのか?となりますと、これも違うと私は感じています。パターンを改善することが可能であるパターン(法則)の存在を常に感じています。

(胡金定)

会員からの「特別ミニ講演」から

住まいと環境について

吉川 公夫

Q1. 多額なお金を投じて求められるには、それなりの目的があるはずです。その目的は当然ながら（幸福な家庭生活を営みたい）からでしょう。その他の項は単に住まいを求める動機に過ぎません。あなたは幸福を仕組む住宅を求めませんか。「答 ロ」

答え：幸福の5つの条件：幸福とは幸福感（満足感、充実感）であって、その永続であり、幸福が存続する5つの条件と原因があります。心身ともに健康であること。平和と安心感に満ちた毎日をおくれること。不自由を耐えられる程度の経済が必要であること。子孫繁栄のために、子供に良い躰のできる環境が必要であること。毎日が快適であること。

Q2. 住宅とは建物だけでも環境だけでもありません。「建物と環境」を合わせ持つ生活環境（住宅・居住環境）であります。その生活環境が住む人に重大な影響なり感化をもたらします。「答 ハ」

Q3. 良い住まいと良い建物は違います。良い建物（ハード面）だから良い住まいと単純に決められません。また良い住環境（ソフト面）もつから良い住まいとも言えません。

住宅を施工する者と住む人が、心と心、知恵と知恵を合わせて良い建物なり良い住環境（ハード面+ソフト面）をつくった時、その住宅は良い住まいと言えるのです。「答 ハ」

Q4. 住宅をシンプルに言ってしまうえば、人間の住む空間であり、空気を入れる物です。空気とは酸素（空気中の約20%）であり、空気とは人間が3分間吸わなければ死に至る程大変なことになります。世の中で一番大切な自然の恩恵です。その酸素が血液を浄化健康が保たれます。その血液によって生じ易い病気は、日本人の三大死亡率をもつガン、心臓病、脳卒中です。つまり悪い住環境は住む人の健康に悪い影響をもたらします。「答 ロ」

大気（空気）の成分：

・酸素20.95% ・直接人間の生存に関係・二酸化炭素0.03% ・濃度330ppm

・窒素 78.10% ・アルゴン 0.90% ・その他 0.02%

Q5. 太陽光線には大別して三つの要素が含まれています。紫外線・赤外線・可視光線ですが、それぞれにメリット、デメリットをもっています。この項で言う紫外線は殺菌効力をもつ光線ですから、食物を扱う場所に欲しいでしょう。つまり、（台所・食堂）紫外線の多い午前中の陽光（ひざし）が欲しいことになります。大腸菌、赤痢菌、チフス菌は20秒以内で殺菌。「答 イ」

Q6. 住宅生活において、心身にもたらすストレスは不幸の原因となりますから禁物です。ところが、新築、リフォームした住宅で意外とストレス現象が多いことも事実です。その理由は半生を犠牲にする程の出費によって求めた住宅ですから、住宅に対する期待が多かった訳です。

その期待がハズレタ場合の不平・不満がストレスとなります

す。特に、主婦を中心とする最も長期間利用し且つ快適性・便利性・安心感を求めるところの台所・食堂の欠陥（不便・不都合）がストレスをもたらします。「答 ロ」

Q7. 住まいは最も身近な生活環境で特に肌に触れる密接な環境です。人間は地上動物として有機質に囲まれた自然環境で生存してきました。つまり陽性の環境が健全な生活を支えてきました。この事実をふまえば、どなたも納得される住まいの資材は、高温多湿な風土に何千年の年月によって培われてきた（木材・土・草）です。「答 ロ」

Q8. 木材が人間にこよなく愛され親しまれてきた理由の一つに空気の調整力をもつことです。特に調湿機能は特筆されるべき大きな価値を持ちます。本項の問題は室内（空気中）の湿度によって異なりますが湿度の高い時には大ビールビン2本以上のデーターが出ております。「答 ハ」

Q9. 住宅はコワレルものではなくコワサレルものと言われます。その理由は物理的現象による耐久性は住宅を一般的な使い方をした場合には100年以上です。つまり老朽化による自然的破壊はめったになく科学的現象（利用価値の低下）による人間の意図によって取り壊される住宅が年間20万戸以上です。その平均年数は16年8ヶ月です。この事実を直視して住まいは耐久性も必要ですがむしろ耐用性（長期間利用）を研究すべきでしょう。「答 ロ」

Q10 子供は子孫繁栄の原点です。つまり立派な大人に成長させることが親としての責任です。昔から「居は気を変える」（住まいは人間形成の場）と言われてきたように住む環境は、子供の性格を変えて人格をつくりだしますさて、あなたは南側の日当たで集中力を欠き優柔不断な子供に育てますか、西側の斜陽を求めて、活力のない子に育てますか、それとも北側の窓（人づくりの窓、子育ての窓、冷厳な窓）で厳しさに耐える質実剛健な気風をもつ子供に育てますか。それによって子供室の環境を選択すべきです。

南側は本来親の場所であり、特に我国は高度成長期後、子供に安易に南側を与えてしまった。確かに子供は陽気で明るい子供が育ったが、集中力が欠け、時代の風潮もあり、自己中心の子供が増えてきた。この結果として、親子の精神的立場が逆転してしまった。そのために、子供は将来大人になる夢、希望、楽しみがなくなっている。

特に大量生産の無機質、地下資源、人工素材に囲まれた環境の現代の子供達は、直ぐにキレル、我慢ができないと言う現象が、その子供の性格となり、日々、新聞、テレビなどで報道されているように、子供を巻き込む事件の大きな社会現象となっている。

環境は人をつくり、人は環境をつくると云う所以です。

地上資源の木質環境の提案・・・やわらかく、調湿機能がある。「答 ロ」



アンケート集計結果

Q1: 今回の勉強会のご感想・ご意見を教えてください。(良かった点、改善して欲しい点、学びになった事、もっと聞きたかった事など) ★各項目の最後の数字は関連の意見で件数。

- A: ・最初のミニセミナー「住まいと・・・」は、解説が分かり易く結構でした。→関連は3。
 ・自身も実践してみたいと思った。
 ・初回参加で、運営内容がよく分からなかった。(会の進め方か?)
 ・知と智の深さ、違いについて、更に勉強をしていきたい。実践で学ぶ。経験則が真に学ぶことと知る。身読がこれに当たる。→身で読む。即頭で考えるだけでは無く、事実の上で実践を通じて学ぶこと。→関連は5。
 ・「老子」の本質(主張する本質)が見えてきた。
 ・緊張感を持って学ぶ。終始勉強になる。期待を込めて。→関連は3。
 ・毎回新しい話があり、生き方が示唆的であるので、生かしていきたい。→関連は2。
 ★旧約聖書との対比が、異なるアプローチがとても分かり易く楽しい。
 ・内容やテーマは難しいけれど、その分析などはとても有益だと思う。然しもう少し時間を掛けて解説して欲しい。→関連は2。
 ・全員で唱和すること=音読は良かった。
 ・今回の学ぶ章の学習は、深い内容だったので、シッカリ自宅復習したい。
 ・「キツネ」と「ライオン」の譬えは特に印象深く受け止めた。
 ・先生の「雑感」の展開が素晴らしく、大変に興味をそそられた。政治にも好影響が与えられれば、更に素晴らしいことになる、と実感する。
 ・先生の雑感とは異なる展開をされるので、ズンズンと引き込まれていく感じを受ける。然しその深さについていく事がどれ程困難か!と実感する毎回の勉強会です。その本質に迫る余程の智が無くては真に迫り深く理解することは至難の技であると認識する。

Q2: 今後の老子勉強会に対するご希望(何でも結構です。希望を書いて下さい)とあるが、Q1と大いにダブルと
 ころもあり、明確には分離出来ないところが多い。(回答ゼロが8もあった。)

- A: ・難しい内容でした。然し、シッカリと学びを継続していきたい。
 ・継続して学ぶ中、「情」の大切さ、を学び、今回の学びを具体的に自身の生活・人生に生かすべく努力をする。→感謝します。関連は2。
 ・何事も全て自身にとっては、有益だと思う。
 ・雑感の#1から～拡大解釈が進むので、意味が深まり理解が進む。→関連は2。
 ・特記すること無し。寧ろ現在進行形(毎回のペース)で進められるのを期待。→関連は5。「継続は力なり」の姿勢を実感すること然りです。→関連は5。

Q3: 今後の老子勉強会に対するご希望

- A: ・授業の時間が足りない。1人
 ・何でも貪欲に学びたい。3人 → もっと具体的な方策があれば、学びたい。1人
 ・「老子会」の学びの時間は、胡先生が主体なので、1時間半をタップリと。1人
 ・授業開始時間・授業の時間厳守を。せめて10分前には揃うようにしたい。2人
 ・継続して参加してしたい。4人
 ・トイレ休憩が必要では? 1人
 ・部屋が寒く、エアコンを適切に! 1人
 ・今後の自身の人生に活かしたい。2人
 ・マナーを回避する為に、春・秋2回程度の課外学習の実施を。例:「歴史の道」歩き。企業ミュージアム等、1人
 ・参加者の相互意見交換の時間も必要か? 一方的な学習会では無いのが良い。2人
 ・月一回の土曜日に限定されず、他の曜日でも開講を希望する。1人 →研究会に参加?
 ・胡先生の授業参加は可能か?
 ・現状で問題無し。この流れを堅持して貰いたい。1人



(集計は藤田憲一理事)



部田哲雄 (トリヲツ) さん

1949年、北海道生まれの部田さん。近畿大学を中退し郷里の北海道で警察署に就職、刑事公安として社会の保安に従事、赤軍派の担当もされました。

後に他の機関に出入り、複数の情報システム会社の役員としても活躍、現在は「大和まほろば情報研究所」所長の職に就かれています。

聖書、日本古代史、ユダヤ問題に造詣が深く、時事問題の研究、情報分析、講演活動にも精力的に取り組まれています。柔道は講道館師範。

最近の講演テーマは「古代ユダヤ人とは誰か」「日本民族とユダヤ民族の共通点」「第三次世界大戦の前兆か、トランプ米国大統領エルサレム首都認定とは」など

日本人の「民族対等」の精神

本年、11月18日の「老子会」において、65章を勉強しました。

その中で、旧約聖書 創世記(第3章から第5章)に記されている「アダムとイブ(エバ)」の物語の説明を受けました。この物語に関する詳しいお話を、機会がありました説明したいと思っています。

日本はかつて、「パリ講和会議」(1919年)で、「人種差別撤廃法案」と言うものを提出しています。国際政治の舞台で「民族対等」を唱えた、世界初の国家なのです。

歴史を紐解きながら、日本人の「民族対等の精神」について考えてみたいと思っています。

部田 哲雄

勉強会の報告

11月度の老子会は、甲南大学で実施し31名の方にご出席いただきました。

吉川公夫氏より『住まいと環境』と題しミニ講演していただきました。

「環境」という言葉は昭和41年に、富田辰雄(環境工学博士)氏によって世に広められたことを知りました。

また、子ども部屋が北向きの場所が良いなど貴重な資料と体験に基づく話に興味を持ちました。

交流会は「とらの穴」にて23名の参加者で中華料理と好みのお酒で大いに楽しみました。

12月は今年の締めくくりで忘年会を兼ねて行います。役員の皆様には万障お繰り合わせの上、ご出席くださいますよう宜しくお願い申し上げます。寒さ厳しい折、お身体を充分ご自愛の上ご活躍ください。

と き：平成29年12月17日(日)午後17時～20時(3時間)

と ころ：難波道頓堀ホテル(地下鉄なんば駅25番出口より徒歩3分)

住 所：大阪市中央区道頓堀2-3-25 ☎06-6213-3444

会 費：5,000円

事務局長 石井 政

老子会ニュース

1. 2017年12月17日の老子会は今年の最後勉強会です。一年間の勉強、本当にご苦労様でした。いよいよ新年をお迎え致しますが、健康にご留意するようにして頂き、来年もさらに充実した勉強会を行っていきたいと思います。

勉強会の予告

1. 第48回老子会は2018年1月20日(土)15時～甲南大学6-33教室で実施。新年早々奮ってご参会して下さい。新年会も予定しています。
2. 第49回老子会は2018年2月10日(土)15時～甲南大学6-33教室で実施。



老 子 会

〒658-8502

神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学 国際言語文化センター 胡金定研究室

電話: 078(435)2353

FAX: 078(435)2545

E-mail kokintei@center.konan-u.ac.jp